

ユア

チャレンジ

Your Challenge

～ずくを惜しまぬ行動が きっと未来を変えてゆく～



第5次 山形村環境基本計画

概要版

● 環境基本計画とは？

● 策定の趣旨

近年、地球温暖化を始めとしたさまざまな環境問題が世界規模で発生していることから、問題の解決に向けて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成や「2050年ゼロカーボン」の実現、生物多様性の保全などに積極的に取り組むことが求められています。

こうした状況に適切に対応していくため、山形村では「第5次環境基本計画」を策定し、村民や村内事業者の皆さんとともに、村の豊かな環境を未来に引き継ぐ取り組みを進めていきます。

二酸化炭素の排出量と吸収量を等しくすることを「ゼロカーボン」といいます



● 計画の位置付け

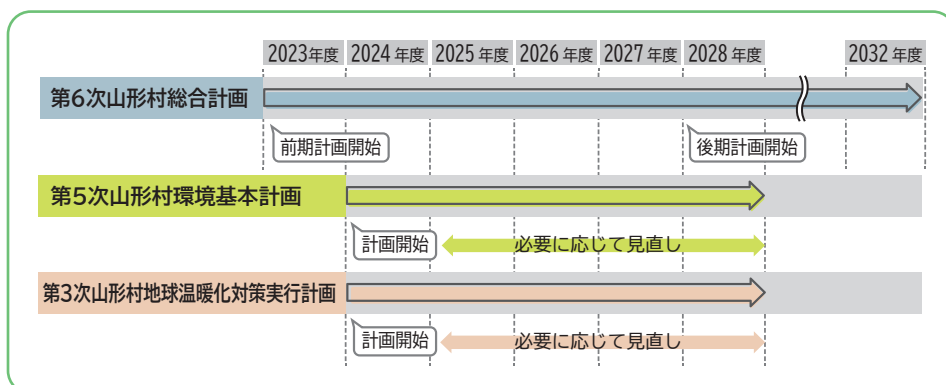
この計画は、村の基本方針となる「山形村総合計画」を環境面から推進するために、村・村民・事業者それぞれが果たすべき役割や、取り組むべきことを具体的に示したものです。

また、第5章には、「第3次山形村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を組み込み、公共施設の維持管理や行政事務事業全般における地球温暖化対策の取り組み方針や内容を紹介しています。

● 計画の期間

計画期間は、2024～2028年度までの5年間とします。

また、環境の状況や社会情勢の変化、計画の達成状況などを踏まえ、適宜施策や目標の見直しを行います。



山形村の環境・みんなの取り組み



村の約半分が森林、約30%が農地という豊かな自然の中に、絶滅危惧種を含む多くの動植物が生息・生育しています



山形小のサクラ（樹齢150年超）は村のシンボリック存在です



長芋やブルーベリーなど、さまざまな名産品があります



YFRにより、村の環境に関するパンフレットが作成されています
*やまがたふるさとレンジャー隊



水環境保全のため、村民とともに河川清掃を行っています



公共施設の花壇などで緑化活動が積極的に行われています



不用な資材や食器、焼却灰などのリサイクルを推進しています

未来につなげ！山形の環境

山形村の未来の環境を守るために、今、
あなたのチャレンジが必要です！



面積の半分が豊かな自然に恵まれた山地であるとともに、扇状地には肥沃な農地が広がる山形村では、四季の移ろいに合わせた暮らしが営まれてきました。

この恵まれた環境を未来に繋いでいくために、本計画では、以下 5 つの基本目標を掲げています。村・村民・事業者ひとり一人が、自然との共生や環境負荷の少ない持続的な社会の構築を目指して、「ずく」を出しあいながら、自主的かつ積極的に取り組んでいきましょう。

Your Challenge

～ずくを惜しまぬ行動が きっと未来を変えてゆく～



みんなで目指す12の取組方針

基本目標の達成に向けて、現在抱えている多くの課題を解決するため、具体的な取り組みを「12の取組方針」にまとめました。この方針に沿って、村民・事業者の皆さんと役割分担しながら、取り組みを推進していきます。

基本目標 1 人々の暮らしと調和した多様な自然環境を保全する

ユア・チャレンジ！

取組方針

1 多様な生態系を保全しよう

村内には多くの生き物が暮らしていますが、外来種の増加などによる影響が懸念されるため、多様な生態系の保全に向けた取り組みを推進します。



外来生物の駆除活動に参加！

村の取組(例)

- ・外来生物の駆除
- ・公共事業における自然環境や動植物への配慮

取組方針

2 環境と農業の調和を図ろう

農地では、風食問題や、農家数の減少・荒廃農地の増加などが課題となっているため、環境と調和のとれた営農の推進を図ります。



地元産の野菜を選んで購入！

村の取組(例)

- ・緑肥の播種面積拡大や風食対策の研究・開発の実施
- ・荒廃農地の再生・利活用等による田園風景の維持

取組方針

3 森林の多面的機能を維持しよう

山林では、多くの木が主伐期を迎えているほか、松くい虫被害が発生しているため、適切な森林整備など、森林の多面的機能を維持する取り組みを推進します。



所有している山を適切に管理！

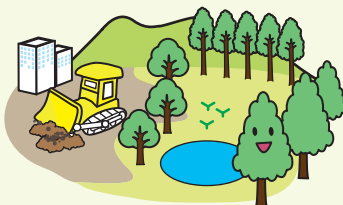
村の取組(例)

- ・伐期を迎えた森林の整備による資源の有効活用促進
- ・松枯れ被害木への迅速な対応による多面的機能の維持

取組方針

4 風土と文化を大切にしよう

ライフスタイルの変化などにより村内の様子も変わりつつありますが、豊かな自然とともに育んできた山形村の風土や文化を大切にする心を育てる取り組みを進めます。



本来の自然に配慮しながら事業を実施！

村の取組(例)

- ・自然環境に配慮した適切な土地利用の推進
- ・天然記念物等を通じた自然環境への理解促進

詳しくは、
村ホームページから
本編をご確認ください



自分たちに
できることから
はじめてみよう!



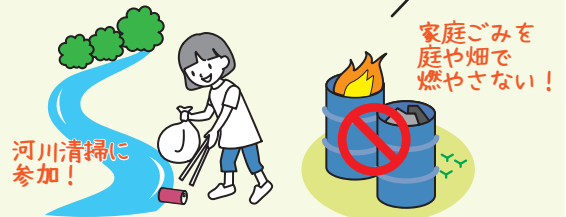
基本目標 2 安全安心で暮らしやすい生活環境を整備する

ユア・チャレンジ!

取組方針

5 安全安心な暮らしを守ろう

生活環境に関わるさまざまな問題が発生していますが、暮らしや事業において、悪臭や騒音の抑制、不法投棄の防止などを心がけ、安全安心な暮らしを守ります。



村の
取組
(例)

- ・河川清掃等による環境意識の向上と美しいふるさとの継承
- ・不法投棄の巡視や投棄物の回収、野外焼却禁止の呼びかけ

取組方針

6 きれいな景観を保とう

雑草の繁茂や、空き家の点在など、管理不足による景観の悪化を防ぐため、緑化活動や空き家の利活用などにより、村内の景観保全の推進を図ります。



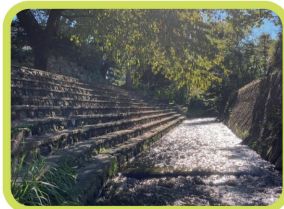
村の
取組
(例)

- ・公園や学校における緑化の推進
- ・空き家の利活用の支援

取組方針

7 良好な水環境を守ろう

下水道は広く普及していますが、今後も適切に維持管理していくため、排水の適正化を進め、良好な水環境の保全に取り組みます。



村の
取組
(例)

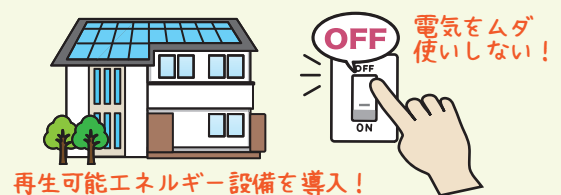
- ・水源環境の保全、安全な飲用水の供給
- ・汚泥処理による放流水の水質保全及び河川の維持管理

基本目標 3 地球環境にやさしい脱炭素の実現に向けた取り組みを促進する

取組方針

8 エネルギーを大切に使う

村内から排出されるCO₂の量は、国の目標値を上回っているため、省エネの推進や、再生可能エネルギーの活用により、さらなる排出量削減を目指します。



村の
取組
(例)

- ・村内推進チームによる整備計画の作成と事業化の推進
- ・補助事業の見直しや利用件数の増加維持管理

取組方針

9 自家用車だけにたよらない生活を心がけよう

移動には自家用車が多く利用されていますが、排気ガスによる環境負荷を低減するため、公共交通の利便性向上や、歩道整備による徒歩・自転車の利用促進を図ります。



村の
取組

- ・公共交通の利用促進による自家用車のCO₂排出量の軽減

環境問題に関心を
持つことも、
チャレンジの一步!



基本目標 4 環境負荷の少ない循環型社会を推進する

ユア・チャレンジ!

取組方針

10 ごみの排出量を減らそう

村内のごみは増加傾向にあります。運搬や処理には多額の費用がかかるほか、多くのCO₂を排出するため、分別の徹底や資源の有効活用を推進し、ごみの削減を目指します。



正しく分別して
ごみを
資源に!



フードロスを
減らす!

村の
取組
(例)

- ・家庭ごみ減量機器購入費用補助による可燃ごみの削減
- ・ペーパーレス化や環境負荷の少ない素材の選択

基本目標 5 ともに学び、ともに取り組む環境活動

取組方針

11 環境教育・環境学習に取り組もう

現状では、環境学習に取り組んでいる村民や事業者はごくわずかであることから、学習機会の創出などに取り組めます。



積極的に
環境学習に取り組む!

村の
取組
(例)

- ・学校林での木育プログラムの充実、森林体験授業等の実施
- ・ごみ処理場やリサイクル工場等の見学会の開催

取組方針

12 環境活動の輪を広げよう

環境学習同様に、環境活動に参加している村民や事業者は少ないため、環境活動の輪を広げる取り組みを推進します。



家族や友達と
環境保全活動
に参加!



村の
取組
(例)

- ・「やまがた環境パートナーシップ」の企画と実践
- ・環境保全ボランティアの養成・それに関わる活動の支援

第5次環境基本計画の構成やコラムの紹介

第5次計画は、村内における環境への取り組みを推進することを目的として、庁内関係者向けの「庁務用総合版」及び、村民・事業者の皆さんに向けた「一般用」、さらにこの「概要版」の3部構成で作成しました。庁務用や一般用では、環境について知識を深めていただくため、右記の項目をコラムとして掲載しています。知っていたことも知らなかったことも、ご一読いただき、環境への理解を深めるとともに、「your challenge」につなげていただければと思っています。



▼第5次環境基本計画 紹介ページ

<https://www.vill.yamagata.nagano.jp/docs/245996.html>

■コラム一覧

- ・外来生物問題とは?
- ・多面的機能とは?
- ・「野焼き」のルール
- ・風食の発生理由とさまざまな対策
- ・上流域の私たちが気をつけること
- ・ゼロカーボン（カーボンニュートラル）ってなに?
- ・移動にかかる温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量
- ・出したごみってどう処理されているの?
- ・やまがた環境パートナーシップのイメージ
- ・取り組みに対する助成・補助の紹介



第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

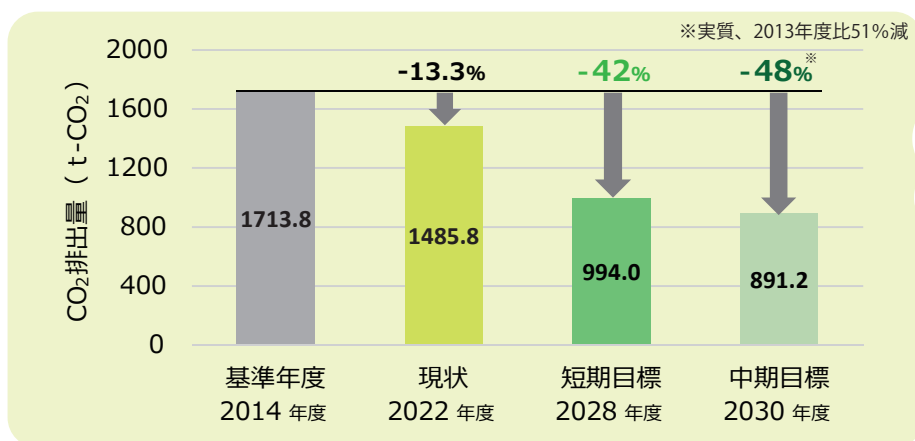
本計画は、村が管理運営を行う全事業拠点及び附帯施設などにおける温室効果ガス（CO₂）の排出抑制を目的として策定しました（「第5次山形村環境基本計画」の第5章として掲載しています）。

本計画に基づき、村では庁内の省エネ、省資源など、CO₂の排出を抑制する取り組みを率先して行い、地球温暖化対策の推進を図ります。

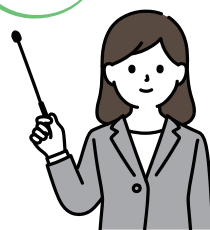
山形村の事務事業における温室効果ガス排出量の目標

村の事務事業におけるCO₂排出量は、排出量の集計を開始した2014年度以降、年間約2%ずつ削減してきました。その結果、2022年度時点で13.3%の削減となっています。

しかし国は、2030年度までにCO₂の排出量を2013年度比で51%削減する目標を掲げています。これを受けて、山形村も、本計画の期間満了時（2028年度）には、2014年度比で42%（2030年度には48%）の削減を目標に取り組みを進めます。



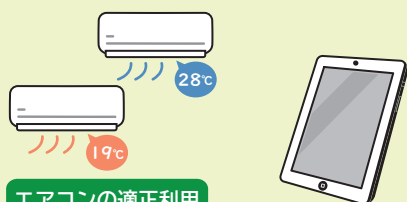
2050年ゼロカーボン
に向けて
役場・公共施設も
取り組んでいます！



削減のため、こんなことに取り組みます！

村の事務事業では、電気と灯油の使用によるCO₂の排出が大部分を占めています。そのため、現状を踏まえながら、以下の取り組みを推進します。

①日常業務での省エネ・省資源行動



エアコンの適正利用

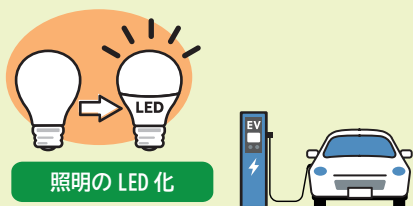
資料の電子化

③再生可能エネルギーの導入推進



公共施設への再生可能エネルギー設備の導入

②省エネルギー設備の導入推進



照明のLED化

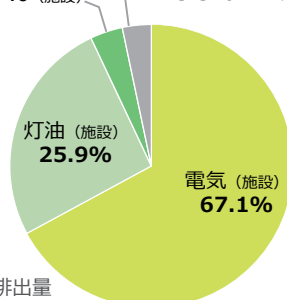
次世代自動車の導入

④環境に関する情報共有と意識の啓発



取組状況に関する情報共有・研修会等の実施

LPガス・ガソリン 3.7% (施設) 軽油・ガソリン 3.3% (公用車)



2022年度排出量
1485.8t-CO₂

事務事業でのCO₂排出割合

地球温暖化が進行すると、作物が採れなくなったり、水不足に陥ったり、病気が蔓延するなど、様々な問題が生じると言われています。みなさんも、出来ることから取り組んでみましょう。

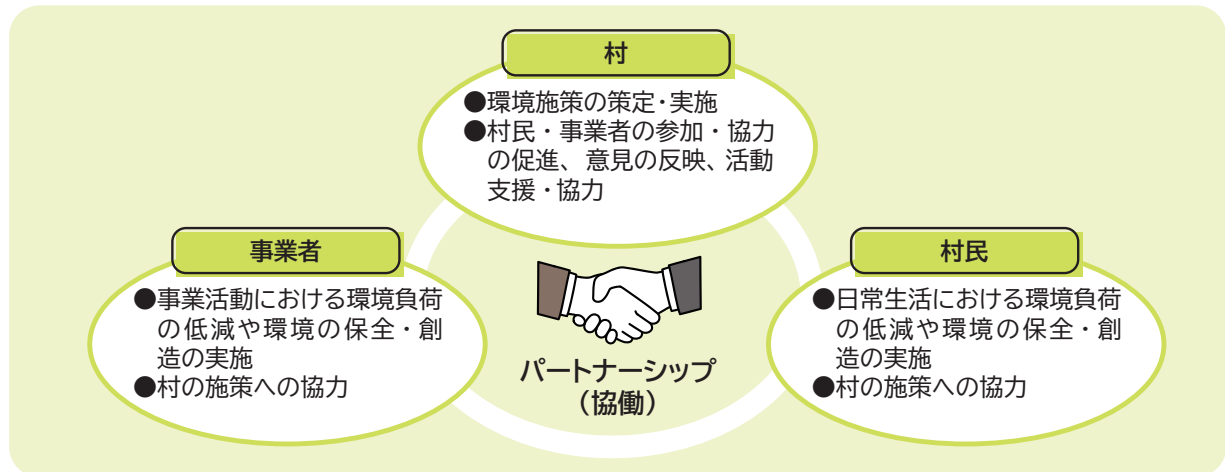
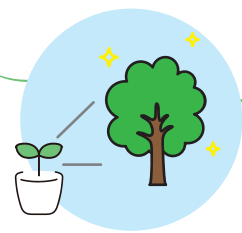


● 計画の進め方

● 計画の推進体制

山形村の豊かな環境を未来に繋げていくためには、村・村民・事業者それぞれが環境を正しく理解し、立場に応じた役割を担うとともに、協働して取り組みを推進していく必要があります。

協働で取り組むと
大きな成果がでそう！

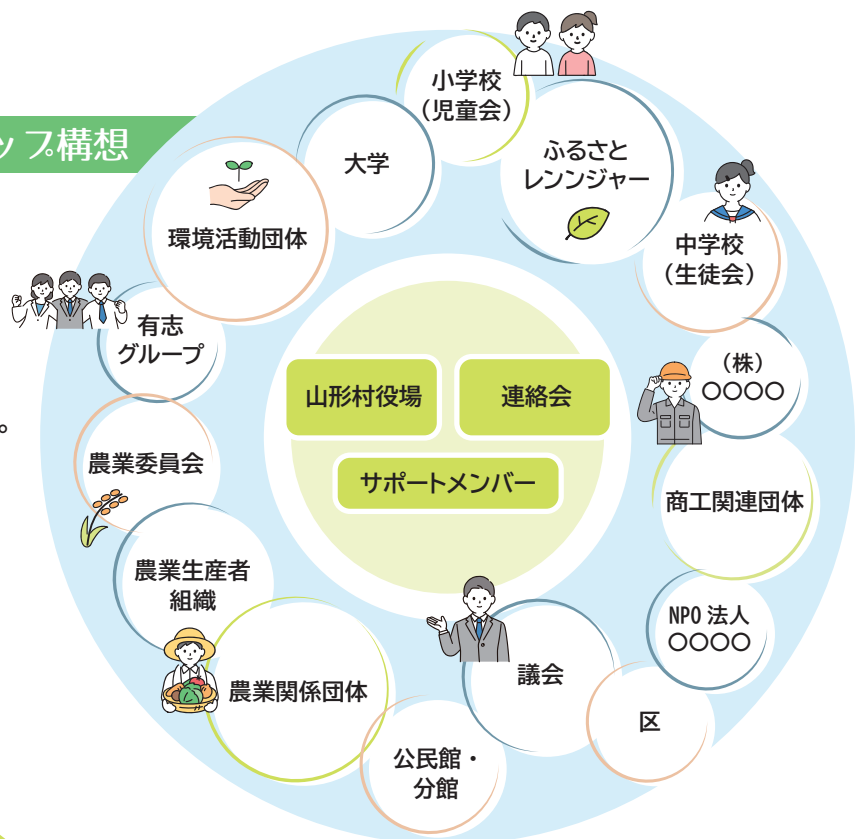


● やまがた環境パートナーシップ構想

村内の環境活動の推進に向けて、環境問題やその課題解決に少しでも関心のある企業・事業所・機関・団体などが気軽に参加でき、共に学び行動できる仲間づくりの場として、「やまがた環境パートナーシップ」を企画しています。

各々の活動、事業のお知らせやイベントへの参加の声かけを行う場とするなど、共通・協働の取り組みや情報交換による“新たな動き”の創出を目指します！

情報は、村ホームページで適宜公開予定です。



“ずく”って何？



ずく＝信州の代表的な方言。
面倒くさがらず、こまめに動こうとする気力。
やる気を出して、根気よく取り組む心持ち。

第5次 山形村環境基本計画 概要版

2024 (令和6) 年3月

山形村役場 住民課

〒390-1392 長野県東筑摩郡山形村 2030-1

TEL. 0263-98-3111 FAX. 0263-98-3078

ホームページ URL <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>